



平成21年度

☆参加無料！  
☆申込が必要です。

# 秋田大学子ども見学デー

～ぼくもわたしも 今日是一日、大学生！～

## ◇プログラム◇

1. 学長室の見学

2. コースにわかれて見学

- 教育文化学部コース
- 工学資源学部コース
- 総合情報処理センターコース
- 医学部コース
- 附属図書館コース

3. 鉱業博物館の見学



日時 平成21年 **8月19日(水)** 8時45分～12時30分

集合場所：秋田大学60周年記念ホール  
(教育文化学部3-145講義室)

対象：小・中学生  
(保護者同伴で参加してください。)

募集人数：180人

申込受付開始：6月29日(月)～  
(定員になり次第、締切といたします。)

申込・問合せはこちら  
秋田大学社会貢献推進室

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1  
Tel 018-889-2270 Fax 018-889-3194  
Eメール shakoken@jim.u.akita-u.ac.jp  
秋田大学ホームページ  
<http://www.akita-u.ac.jp/>



# 平成21年度秋田大学子ども見学デー ～ぼくもわたしも今日は一日、大学生！～ 実施要項

1. 趣 旨 秋田大学の仕事の説明を聞いたり、大学内の見学、体験などを通じて、親子のふれあいを深め、子どもたちの夏休みを広く社会を知る体験活動の機会にするとともに、大学に対する関心を深めてもらうことを目的とします。
2. 日 時 平成21年8月19日(水)  
(受付) 8:45～ 9:10  
(見学) 9:10～12:30
3. 受付・集合場所 秋田大学60周年記念ホール  
(教育文化学部3-145講義室)
4. 対 象 小・中学生(保護者同伴で参加してください。)
5. 参 加 費 無料
6. 募集人数 180人(定員になり次第、締切といたします。)
7. 申込方法 別紙申込用紙を郵送・FAXにより送付いただくか、電話・電子メールにより、下記の事項を秋田大学社会貢献推進室までお知らせの上、お申し込みください。



- 郵便番号, 住所    ○本人(子ども)氏名, 年齢    ○学校名, 学年    ○保護者氏名  
○連絡先(電話番号/電子メールアドレス等)  
○希望コース(別記「コース一覧」をご覧ください、第3希望までお選びください)  
○自家用車での来学の有無

※申し込みに係る個人情報、「秋田大学子ども見学デー」業務の運営にのみ使用します。また、個人情報保護法に基づき、適正に管理します。  
※コース決定のお知らせについては、8月上旬頃に、申込者あて通知いたします。  
なお、定員枠の関係上、ご希望に添えない場合がありますのでご了承願います。

8. 申込受付開始 6月29日(月)～(定員になり次第、締切といたします。)
9. 問合せ・申込先 秋田大学社会貢献推進室  
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号  
TEL: 018-889-2270 FAX: 018-889-3194  
E-mail: shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

## 10. プログラム

時 間	内 容	会 場
8:45～ 9:10	受付・集合	秋田大学60周年記念ホール
9:10～ 9:20	歓迎のあいさつ	〃
9:20～ 9:30	秋田大学の紹介	〃
9:30～ 9:40	本部管理棟へ移動	秋田大学本部管理棟
9:40～10:00	学長室の見学	〃
10:00～10:20	各希望コースの会場へ移動	教育文化学部、医学部、工学資源学部、 附属図書館、総合情報処理センターに わかれて見学
10:30～11:30	各希望コースの見学・体験 (「コース一覧」をご覧ください。)	
11:30～12:30	鉱業博物館へ移動後、自由見学	工学資源学部附属鉱業博物館
12:30～	解 散	

# 平成21年度「秋田大学子ども見学デー」コース一覧

【所要時間：各コース 60分程度／募集人員：180名】

コース番号	コース名	実施内容	担当者	会場	募集人員(最大)	対象
①	教育文化学部	<b>◎天文台見学・体験講座</b> 天文台で、新天体望遠鏡45cmリッチー・クレチアン式反射望遠鏡を見学し、天体望遠鏡の操作と月・惑星の観察を体験しましょう。また、インターネット天文台の体験や、晴天の時は、屋間の金星観察と太陽投影版を使った太陽面観察をしましょう。そのあとは4次元デジタル宇宙シアターの上映をします。	教授 林 信太郎 准教授 上本 田彦 教授 本成 谷研 准教授 毛 田悦 技術長 堅 春 技術専門職員 利 治	教育文化学部 3号館 301号地学実験室 402号天体観測室	50人 (20家族) 程度	小・中学生
②	医学部	<b>◎感染症伝播の様子のコンピュータ・シミュレーションを体験しよう!</b> コンピュータを用いて色々な感染症のひろがりをシミュレーションしてみましょう。	教授 中 村 彰 准教授 片 平 昌 幸	医学部基礎実習棟3階 第5B実習室	40人 (20家族) 程度	小・中学生
③	工学資源学部 1	<b>◎EPMAによる金属材料組織の観察</b> 電子線をつかって、我々のもっとも身近な金属であるコインの観察や成分分析を行いその秘密にせまりましょう。	講師 福 本 倫 久	工学資源学部 材料工学科 3号館101室	10人 (5家族) 程度	中学生
④	工学資源学部 2	<b>◎すず合金鑄物(いもの)を作ろう!</b> 自分の好きな形に作った「鑄型(いがた)」に溶けた金属を流して、自分だけのアクセサリを作りましょう。 金属も加熱すると溶けることや、金属の種類によって溶ける温度が違うことを学びましょう。	教授 麻 生 節 夫	工学資源学部 材料工学科 3号館105室	15人 (7家族) 程度	小学生
⑤	工学資源学部 3	<b>◎機械工学科で「ものづくり教育」を体験しよう!</b> ①レゴの組立て分解に挑戦 リサイクルの観点から、簡単に分解できる機械が望まれています。今回はレゴを使って、簡単な構造物の組立て分解に挑戦しよう。 ②レゴブロックによるロボット競技会 タイヤ、モータなどのレゴブロック(機械部品)を組立てて学生が作ったロボットを、実際に操作して遊びながら機械の面白さを体験しよう。 ③手作り和時計のからくり 学生が木やプラスチックで作ったオリジナル和時計を見てもらいます。日本には「からくり」というものづくり技術があることを知ります。 ④ろうそく1本で進む船 これは不思議です。ろうそくの熱エネルギーで小さなおもちゃの船がぶくぶくとあぶくを出しながら進みます。秋大生が実演します。仕掛けはどうなっているのでしょうか。 ⑤真空の不思議 真空中で物体はどんな動きをするのだろうか。皆さんが、実際に実験をして確かめてください。「えっ!羽根がこんな動きを?」	全体教授 神 谷 修 ①教授 大 好 直 ②講師 穂 苅 真 樹 ③講師 高 橋 護 ④准教授 長 谷 川 裕 晃 ⑤講師 杉 山 涉	工学資源学部 機械工学科 ①P401室 ②P503室 ③P503室 ④機械工場東側 ⑤玄関ロビー	40人 (20家族) 程度	小学校 高学年 以上
⑥	工学資源学部 4	<b>◎おもちゃでエレクトロニクスを体験しよう!</b> プラモデル用の小型モータを使って手回して電気を発電し、LEDライトを光らせたり、他のおもちゃを動かす実験をしてみましょう。作成したおもちゃは持ち帰ることができます。	教授 小 原 仁	工学資源学部 電気電子工学科 1号館318室	10人 (5家族) 程度	小学生
⑦	附属図書館	<b>◎図書館ツアー</b> ・図書のコツ(無断で図書を館外へ持ち出そうとすると???) ・自動貸出装置(借りたい図書は自分で手続きしてみよう) ・昔の教科書がいっぱい(おじいちゃんやおばあちゃんが使った教科書がたくさんあるよ!) ・電動集密書架(動くほんだな!!!) <b>◎スタンプラリー</b> ・見つけられるかな(自分で本をさがしてみよう)・・・ブックラベルの説明や本の豆知識の提供 <b>◎豆本及びメモ帳の制作</b> ・簡易製本機(世界に1つしかないメモ帳を作ってみよう)	附属図書館長 大 好 直 利用サービス係長 加 賀 谷 龍 邦 図書情報係長 飯 沼 悦 寛 雑誌情報係長 飯 沼 悦 寛	附属図書館	30人 (10家族) 程度	小学生
⑧	総合情報処理センター	<b>◎パソコンでうちわを作ろう!</b> 各家族でパソコンを操作し、オリジナルのうちわをデザインし、うちわを完成させましょう。出来上がったうちわは持ち帰ることができます。 <b>◎総合情報処理センターの見学</b>	准教授 吉 正 小 鷲 大 技術職員 崎 木 林 谷 友 技術職員 弘 忠 俊 賢 事務職員 一 良 央 洋 子	総合情報処理センター1階 第一端末室	40人 (20家族) 程度	小・中学生

# 申込受付窓口と当日集合場所のごあんない

## ▽秋田大学手形キャンパス内



### 申込受付窓口

社会貢献推進室  
(一般教育1号館2階)

### 当日集合場所

秋田大学60周年  
記念ホール

### バス案内 (秋田駅前から)

【手形キャンパスへ】所要時間約10分 (運賃150円)

路線	乗場	下車
手形山経由大学病院線	西口4番	秋田大学前

※秋田駅から大学まで約1.3km (駅東口から徒歩で15分)

